



## 11.5 津波防災の日

# 現地踏査行動を実施！

11月5日津波防災の日に、東神奈川→横浜間の現地踏査行動を行いました。東神奈川→横浜間は、東海道線、横須賀線、京浜東北線の3線が走っており、海側には京浜急行が走る幅の広い場所です。また地形上、谷のような場所に線路が通っており、いざ地震や津波が襲来した際は避難誘導に困難が予想される場所です。

### 現地踏査を行った組合員の意見

「会社の委員会で行った地震訓練シミュレーターの際、何をして良いか分からず何もできなかった現実がある。組合で行う防災の取り組みも、実践に見合った行動訓練が必要である。」

「踏査した箇所は、6線路あり降車、敷地外への避難誘導は京急神奈川駅からの経路しかなく困難であると感じた。他社との連携が必要なのではないか？」  
などと言った意見が出されました。

いざ地震、津波が発生すれば、「自分のいのち」を守りながら「お客さまの避難誘導」を行うことが私たちには求められます。現地踏査や防災の取り組みを通じて、災害に対する知識を積み重ね防災意識を高めることが重要です。同時に災害対策を会社に求め実施させることが社会的使命です。



# 災害に常に備え、いのちを守り抜こう！